大学教務実践研究会セミナー
教務系事務部門中堅者向け講習会

2026.10.10

３ｂ

「激論！ ドンとぶつかれ、再課程認定申請！！ 肝はこれだ！！！」

一人で抱え込まず、横のつながりで不安や怖さを力に変え、申請の壁をドンと突破しましょう！
経験者も未経験者も、リアルな悩みやノウハウを共有し合える仲間づくりの場へ。

多畑 寿城

参考文献『教職課程運営改善の視点 事務職員の立場で何にどう取り組むか』（ジダイ社）多畑寿城 著

再課程認定申請を突破する取り組み

壁を越えるための「3つの肝+1」

1. 一人で背負わない全学体制

個人や担当部署だけで悩まず、全学的な協力と理解を引き出す組織的な推進体制を早期に作る。

2. 余裕を持ったスケジュール

直前の突貫工事は焦りとミスの元。構想・事前確認・作成の工程を前倒しで逆算する。

3. 日頃からのセルフチェック

法令改正や審査基準の変化を常に把握し、教育課程、担当教員、シラバスなどの整合性を日常的に点検する。

＋１．またとない幸運・チャンス

このタイミングでの教職担当は決して不運ではなく、
再課程認定申請を経験できる希少なチャンス。

教員と手を取り合う「教職共創」

教員と信頼し合える協働・共創の「パートナー」になるために

1. **単なる「作業員」から「頼れるプロ」へ**
   事務処理をこなすだけでなく、法令制度のプロとして教員に質の高いアドバイスを提供する。

2. **教員の教育への熱意と現場の悩みに寄り添う**
   教員の想いを尊重しながら、現実的な手続きルールとのバランスを一緒に模索する。

3. **「ダメ」で終わらせず「こうすれば行ける！」を提案**
   制度上難しい要望も単に断らず、「基準を満たす別の方法」を一緒に考える姿勢を持つ。

激論＆意見交換を深めるヒント

現場を変える「5つのキーコンセプト」

01

「教職課程は生き物」

一度認定を受けたら終わりではない。法令や社会の要請に応じた柔軟な運用が必要。

02

「雑談のすすめ」

日常のちょっとした会話や雑談から、相談しやすい関係と相互の信頼感を育む。

03

「事前共創」

申請直前ではなく、構想や教育課程の設計の初期段階から職員が深く関わってサポートする。

04

「全学連携ガバナンス」

教職担当部署だけでできるものではなく、全学的な理解と協力と巻き込み体制を確立。

05

「失敗からの学びと継承」

苦い経験や悩みをノウハウとして残し、担当が変わっても一人で悩まない「組織の知見」へと育てる。

グループワークで本音トーク！

横のつながりで「不安・怖さ」を力に変えよう

経験者も未経験者も気になる問いから自由に激論しましょう

問い1	日頃の「教員とのコミュニケーションや雑談」、どう工夫してる？
問い2	再課程認定申請でいま一番「不安・怖い」と感じている壁は何？（経験者の知見も募集！）
問い3	一人で抱え込まず、次の世代へノウハウを繋ぐために今日からできることは？